

令和7年度

碧南市わかりやすい 決算の説明書



□目次

碧南市のお財布事情（歳入）	1
碧南市のお財布事情（歳出）	3
身近なお金の使い方	5
主要な財政指標等	7
決算収支の状況	8
碧南市の借金や貯金について	9
碧南市の財政状況	11
財政健全化の比率	12
決算額と税収	13
家計簿にたとえてみたら？	14



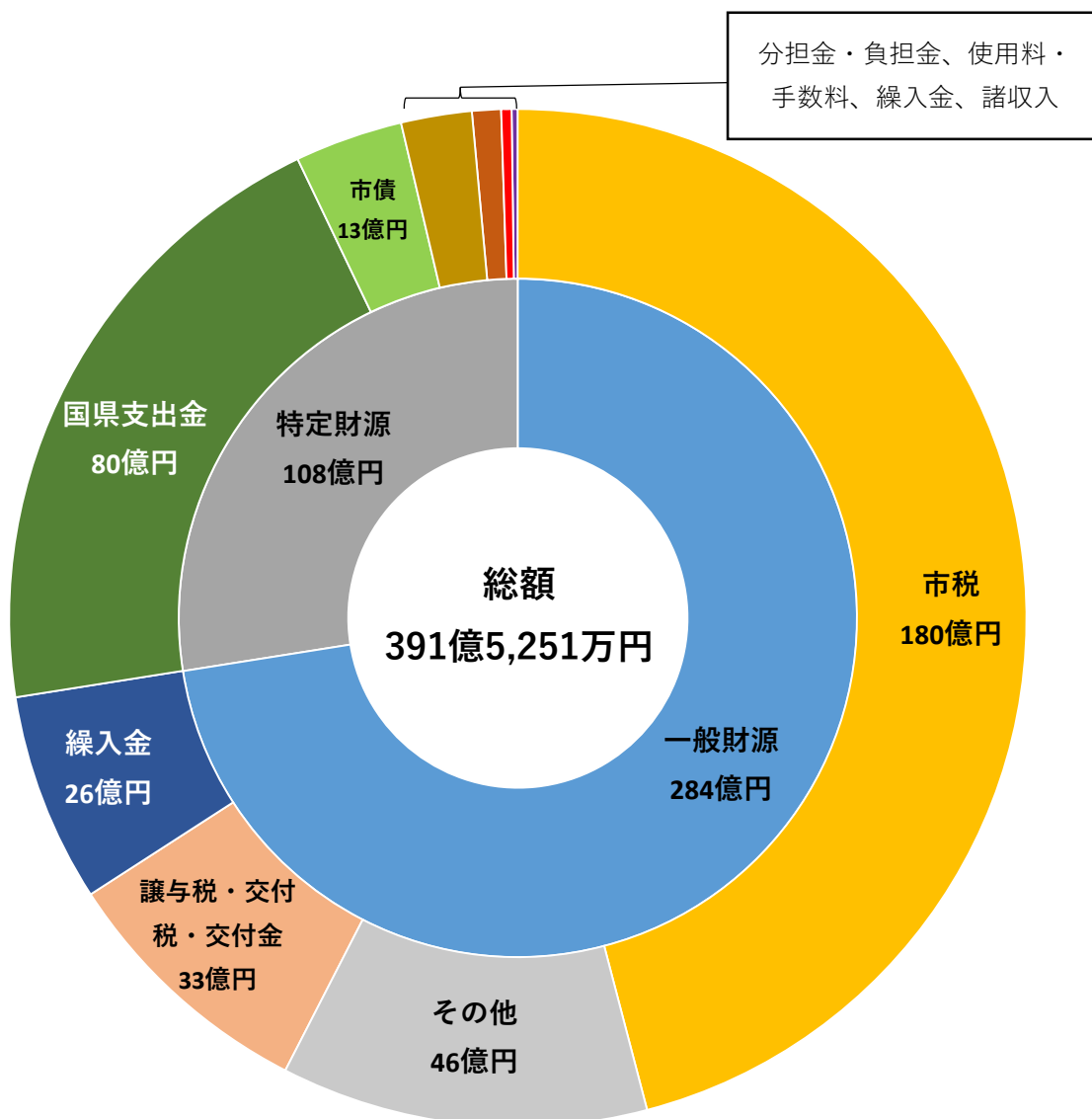
碧南市 Hekinan City

新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん

令和7年度 碧南市のお財布事情（歳入）

Q 碧南市にはどんなお金が入ってきたの？

令和7年度の決算では、入ってきたお金（歳入）は、391億5,251万円となりました。市民の皆さんや市内の会社が納めていただいた税金が多くを占めている他、国や県から入ってくるお金や貯金を取り崩したお金、銀行から借り入れた資金などが含まれます。



入ってくるお金は「一般財源」と「特定財源」に分けられ、それぞれ性質や使い道に違いがあるぶう



令和7年度 歳入の内訳

令和7年度一般会計歳入決算（一般財源・特定財源別）

項目	説明	決算額（千円）	構成比
一般財源	使い道が決められていない収入	28,384,523	72.5%
市税	市民の皆さまから収めていただく税金	17,973,137	45.9%
譲与税・交付金	国や県が集めた税金の一定割合が配分されるもの	3,252,522	8.3%
繰入金 （財政調整基金）	収入の不足分を補うために基金（貯金）を取り崩して一般会計（財布）へ入れるお金	2,599,907	6.6%
その他	前年度からの繰越金、寄附金、財産収入など	4,558,957	11.7%
特定財源	使い道が決められている収入	10,767,988	27.5%
国・県支出金	特定の事業に対して、国・県から使い道を指定して交付されるもの	7,980,563	20.4%
分担金・負担金	特定の事業に要する経費に充てるため、当該事業によって利益を受けるものから徴収するもの	73,728	0.2%
使用料・手数料	施設の使用や証明発行手数料など	359,067	0.9%
繰入金	財政調整基金以外の基金（何かの目的を持って溜めた貯金）からの繰入	129,862	0.3%
市債	減収補てん債（特例分）以外の市債	1,344,300	3.4%
その他	貸付金の元利収入、給食費などのその他収入	880,468	2.3%

【一般財源とは・・・】

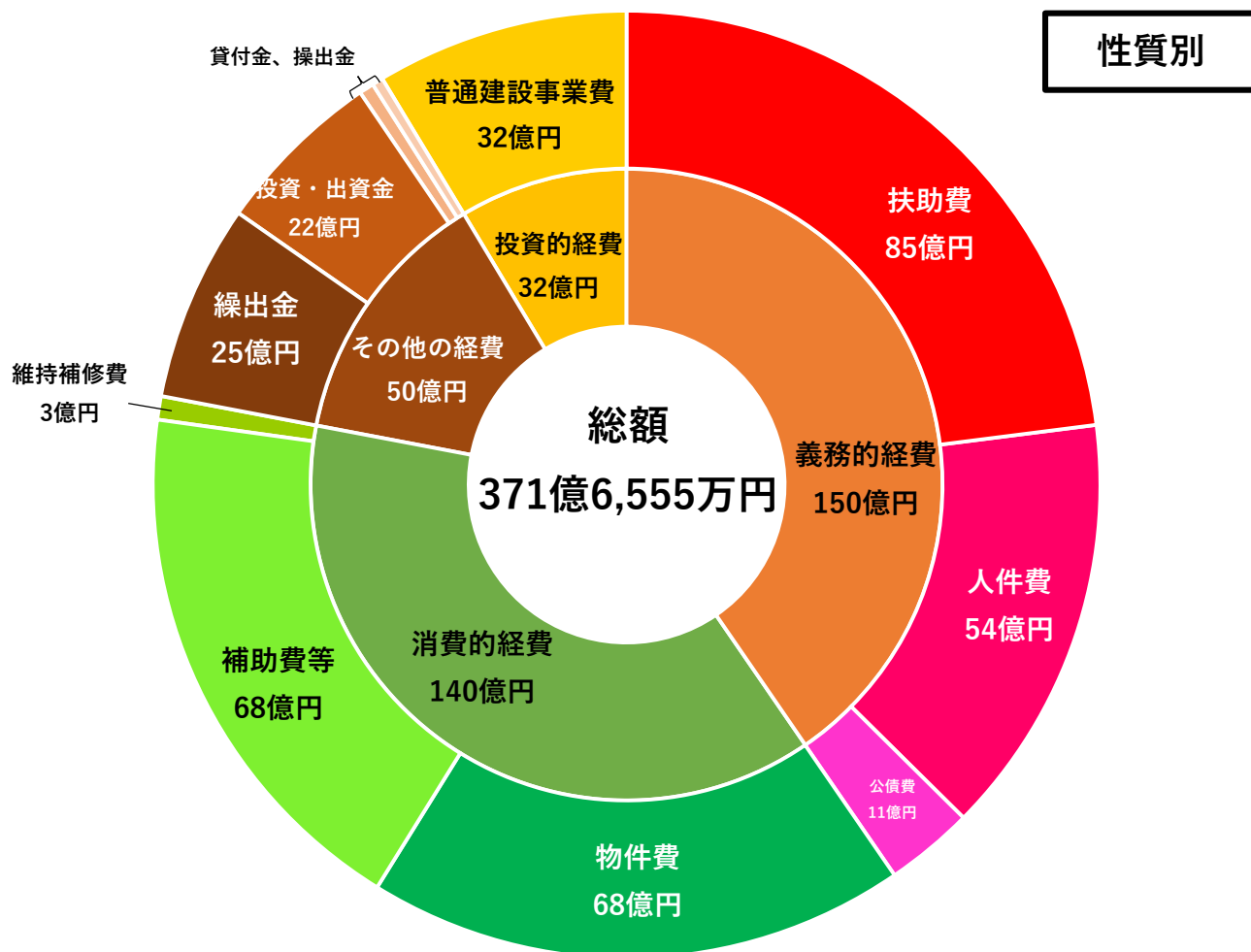
使い道に指定がないお金で、日常的に行われる様々な行政サービスに使われています。例えば、道路の維持費や福祉、文化、スポーツにも使われます。

【特定財源とは・・・】

使い道があらかじめ決められたお金です。例えば、道路整備のための特定財源は他の事業や目的に使うことができません。

令和7年度 碧南市のお財布事情（歳出）

Q 碧南市ではどんなことにお金を使ったの？【性質別】

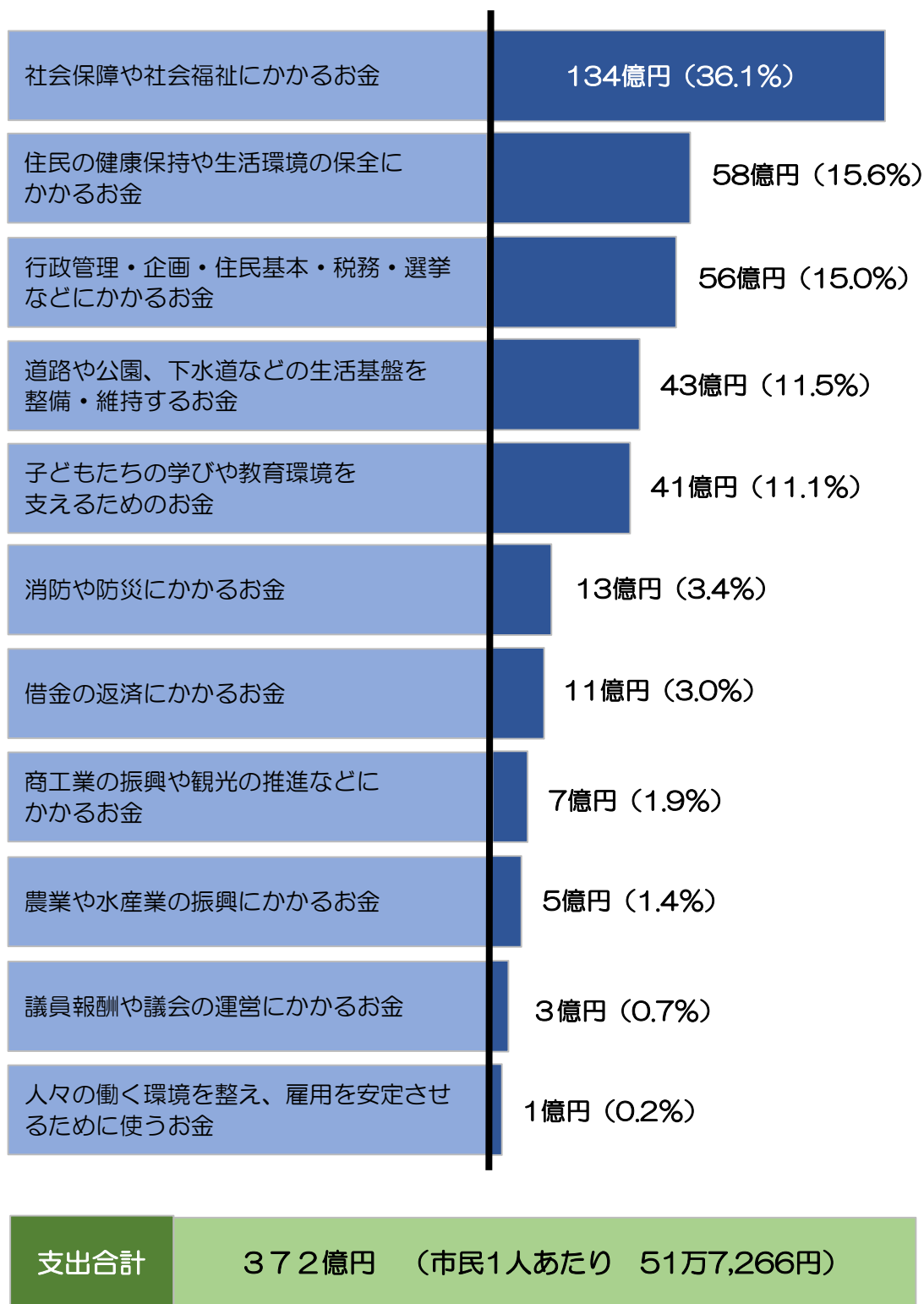


- 義務的経費：必ず支出しなければならない経費
- 扶助費 職員の給料などにかかる経費
 - 人件費 介護・医療の給付費など福祉や医療にかかる費用
 - 公債費 国や金融機関から借り入れを行った市債の返済金
- 消費的経費：経費支出の効果が極めて短期間で終わるもの
- 物件費 光熱水費、消耗品費、施設の管理経費など
 - 補助費等 事業や団体に対する補助金など
 - 維持補修費 施設の修繕費など
- 投資的経費：経費支出の効果が資本形成となるもの
- 普通建設事業費 道路や学校などの公共施設の建設や大規模改修経費
- その他の経費：義務的、消費的、投資的経費以外の経費
- 積立金 各種基金への積立金
 - 投資・出資金 下水道事業会計や病院事業会計に対する出資金
 - 貸付金 一時的に貸し付けたり預けたりする費用
 - 繰出金 特別会計を補うための費用



Q 碧南市ではどんなことにお金を使ったの？【目的別】

歳出は、どのような分野の行政サービスに使われているのか「目的別」からも見ることができます。目的別にみると具体的にどのようなものに市のお金が使われているかを整理することができます。令和7年度は民生費や衛生費といった福祉や保健、医療に関する費用が半分を占めています。



(※令和8年7月31日現在の人口71,850人で算出した額)

身近なお金の使い道

Q どんなことにお金を使ったの？

子育て

保育園は、保護者の方からいただく保育料と、国・県・市の支出により行われています。令和7年度は、保育所の運営に係る費用として民間保育所に対し約28億円、公立保育所に対し8億円の支出を行いました。また、幼稚園の運営に係る費用として3億円の支出を行いました。

	総額	市の負担	市民一人あたり
民間保育所	2,783,454,933円	904,690,983円	12,591円
公立保育所	796,160,503円	743,394,932円	10,346円
	総額	市の負担	市民一人あたり
幼稚園	320,090,153円	308,171,604円	4,289円



教育

小学校の運営に係る費用として、約5億円の支出を行いました。小学校施設の維持管理として令和7年度は、西端小学校及び大浜小学校のトイレの一部を改修しました。

	総額	市の負担	市民一人あたり
小学校	503,454,307円	332,644,539円	4,630円

中学校の運営に係る費用として、約2億3千万円の支出を行いました。小学校施設の維持管理として令和7年度は、新川中学校及び南中学校の屋内運動場の空調設備の設置にかかる設計業務委託を行いました。

	総額	市の負担	市民一人あたり
中学校	231,516,562円	230,367,562円	3,206円

環境

分別回収から不法投棄等まで様々なごみの処理を行う費用として約17億1,734万円の支出を行いました。

	総額	市の負担	市民一人あたり
ごみの処理	1,717,341,213円	1,687,019,144円	23,480円

福祉・医療・介護

	総額	市の負担	市民一人あたり
障害者福祉にかかる費用	2,399,416,622円	725,379,936円	10,096円
医療にかかる費用	1,830,490,240円	1,345,815,904円	18,731円
介護にかかる費用	1,006,576,964円	963,839,844円	13,415円

道路

道路整備等にかかる費用として、約7億円の支出を行いました。

	総額	市の負担	市民一人あたり
道路整備	698,745,637円	323,666,785円	4,505円

支出総額の大きい項目は、市民の皆さんに直接的に影響するものが多いから、どのような市民サービスにどのくらい費用がかかっているかがわかりやすいように碧南市の支出の中で特に大きなものをあつめてみたぶう



主要な財政指標等

名称	説明
普通会計	地方自治体ごとの財政状況を同じ基準で比較・分析するために、総務省が定める基準に基づいて各団体の会計を再構成した統計上・観念上の会計。地方財政の状況を全国一律で把握するために用いられる。
歳入総額	普通会計（一般会計、訪問看護事業特別会計）の歳入歳出
歳出総額	※歳入総額及び歳出総額において、純計（本来、特別会計に属すべき歳入歳出額のうち、一般会計が負担している歳出額及びその財源を除く）処理により一般会計、訪問看護事業特別会計の合計と一致しない。
財政力指数	財政力指数＝基準財政収入額／基準財政需要額 地方公共団体の財政力を判断する理論上の指数。標準税率をもって算出した法定普通税などを基にして、標準的な行政を行う場合の財政力の程度を示すもので、財政力指数が良いからといって富裕な団体という即断はできない。 指数が1より大きければ財源に余裕があり、1よりも小さければ余裕がないとされている。 (3か年平均は再算定後の数値)
基準財政収入額	基準財政収入額＝標準的な地方税収入※1×75／100＋地方譲与税等※2 （交付税法第14条の規定による、地方公共団体のあるべき一般財源） ※1：法定普通税のすべて、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、法人事業税交付金、環境性能割交付金、市町村交付金、地方特例交付金 ※2：地方譲与税、交通安全対策特別交付金、税源移譲相当額（個人住民税）
基準財政需要額	基準財政需要額＝経常経費＋投資的経費＋その他経費 交付税法第11条の規定による、合理的かつ妥当な水準で標準的な行政を行うための必要経費。 行政項目ごとに、測定単位×単位費用×補正係数で算定した額の合計である。
経常収支比率	経常収支比率＝経常経費充当一般財源額／（経常一般財源収入額＋減税補てん償発行予定額＋臨時財政対策債発行予定額）×100 財政構造の弾力性を測定するもので、70～80%の間で分布するのが通常で80%を著しく超えると財政の硬直化が進んでいるといわれている。
実質収支	地方自治体の決算において、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源などを差し引いた実質的な差額。 ※形式収支：歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額 ※翌年度へ繰り越すべき財源：繰越明許費や事故繰越など
単年度収支	前年度以前からの累積の影響を除き、その年度（1年間）のみの純粋な収入と支出の差額 単年度収支＝当該年度の実質収支－前年度の実質収支
実質単年度収支	地方自治体の決算において、単年度の収支から貯金（基金）の積み立てや取り崩しといった特異な要因を除き、その年度の真の財政負担や収支バランスを測る指標 実質単年度収支＝単年度収支＋財政調整基金積立額＋地方債繰上償還額－財政調整基金取崩額

決算収支の状況

決算収支状況（普通会計）

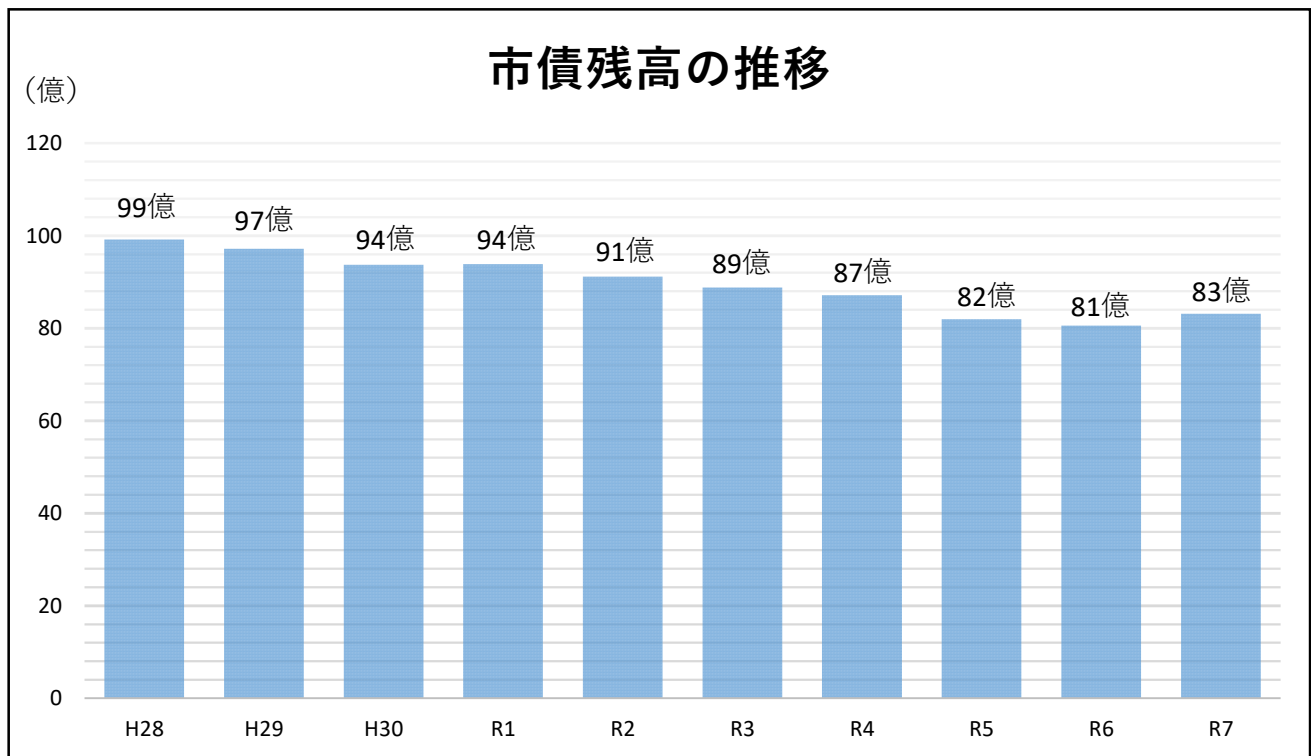
（単位：千円）

区分	令和7年度	令和6年度
歳入総額 A	39,098,155	36,967,571
歳出総額 B	37,066,526	34,582,790
歳入歳出差引 C(A-B)	2,031,629	2,384,781
翌年度に繰り 越すべき財源 D	49,353	260,409
実質収支 E(C-D)	1,982,276	2,124,372
単年度収支 F	△142,096	413,107
積立金 G	39,054	19,433
繰上償還金 H	0	0
積立金取崩額 I	2,599,907	0
実質単年度収支 J(F+G+H-I)	△2,702,949	432,540

碧南市の借金や貯金について

Q 碧南市の借金はどれくらいあるの？

市が事業を行うために、国や銀行などから借りたお金を「市債」といいます。道路、学校、公園、水道などに関する大きな事業には、一時的にもの凄く大きなお金が必要です。今年集まった税金だけですべて払おうとすると、その年の市民の負担が急に重くなってしまったり、賄いきれない場合があります。そのため、市債を発行して国や銀行からお金を借り、複数年に分けて少しずつ返済していきます。



令和7年度末の市債残高は83億732万8,917円となっていて、昨年度から2億5,097万2,742円増加したぶう
これは、償還額に対し新たに借り入れた額の方が多くなったことが要因だぶう



Q 碧南市の貯金はどれくらいあるの？

通常予算は「その年度に入ってきたお金で、その年度の事業を行う」のが原則ですが、将来の大きな支出や万が一の備えや特定の事業のために財源に余裕がある年度に積み立てておくものを「基金」と呼び、地方公共団体の貯金のことです。基金は、財政調整基金と特定目的基金の2つに大きく分けられます。

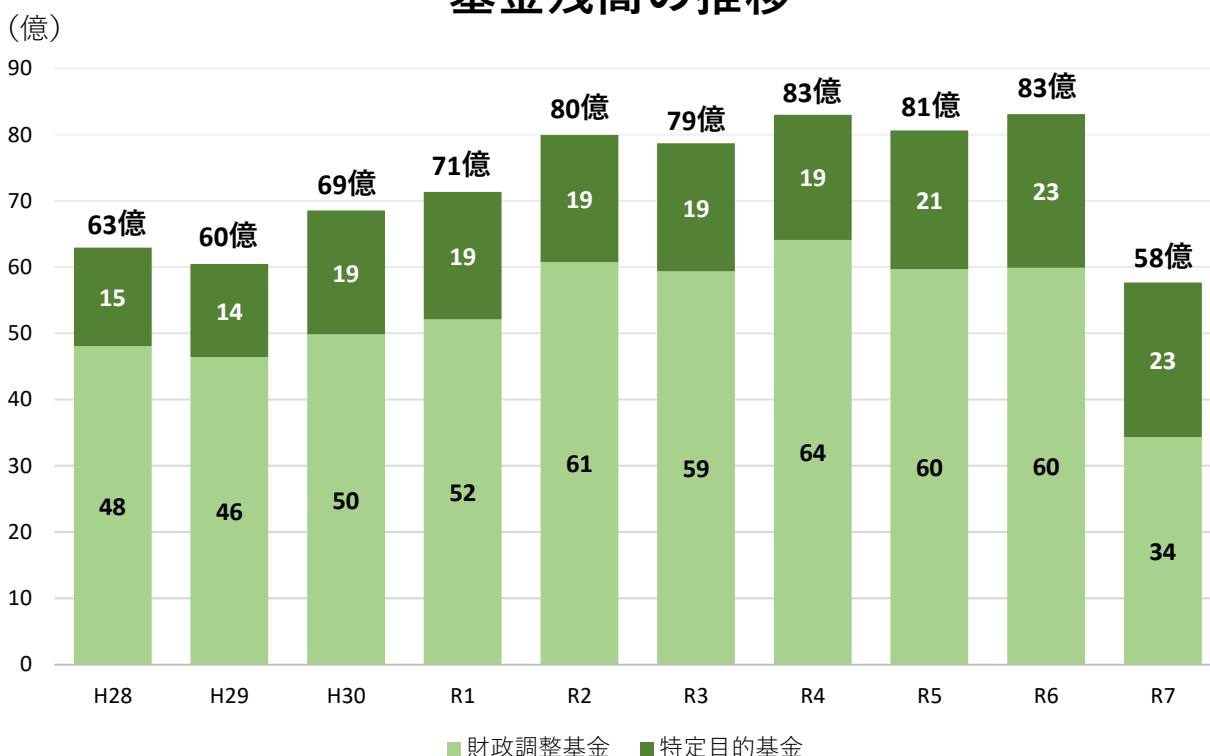
- 財政調整基金

経済不況等による大幅な税収減によって収入が不足したり、災害の発生による多額の経費の支出が必要になるなど年度によって生じる財源の不均衡を調整するお金

- 特定目的基金

特定の使い道を決めて貯めるお金

基金残高の推移



令和7年度末の基金総額の残高は57億6,753万4,139円となっていて、昨年度から25億4,220万5,815円減少した
 ふう
 これは人件費や扶助費の経常経費の増加に加えて碧南市民病院への繰り出しにより財政調整基金を大きく取り崩したことが要因だふう

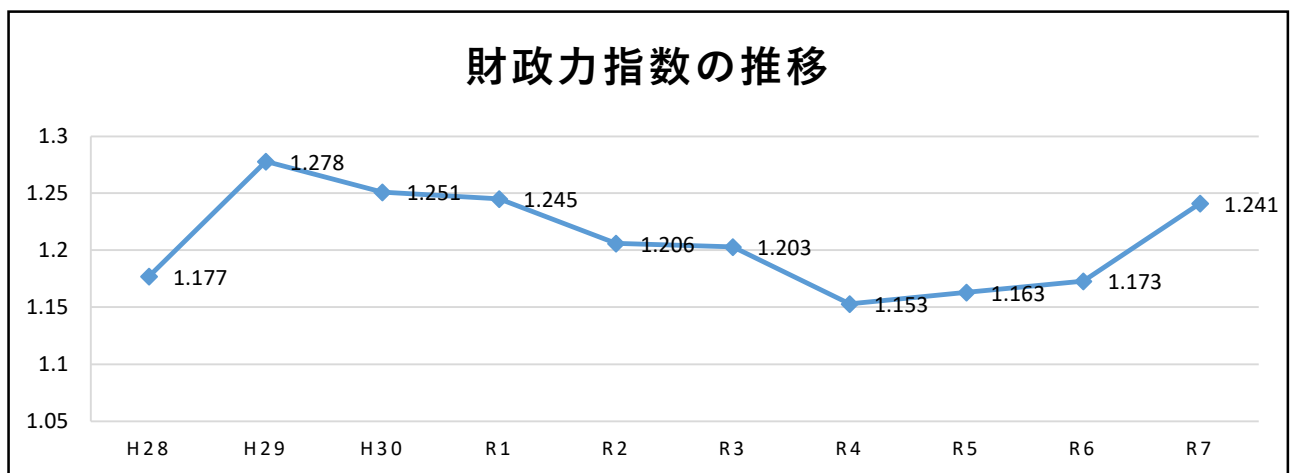
碧南市の財政状況

Q 碧南市の財政状況はどうなっているの？

地方自治体の財政状況を測る主な指標として、「財政力指数」と「経常収支比率」が挙げられます。

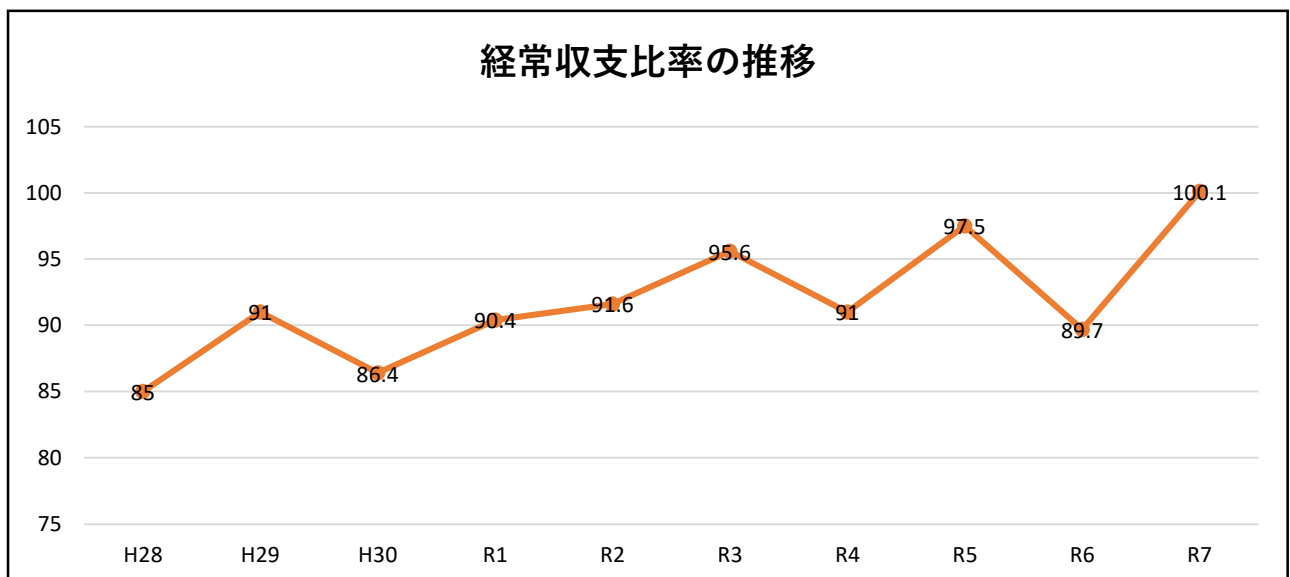
財政力指数

標準的な行政活動を行うために必要な費用を、自前の税收等でどれくらいまかなえているかを示す指標になります。数値の意味として、「1」を超えるほど自前の収入で必要経費を十分まかなえるため、財政力が強いとされます。



経常収支比率

毎年決まって入ってくる自由度の高いお金（税金や地方交付税など）のうち、人件費や借金の返済といった毎年必ず出ていく避けられないお金がどれだけ占めているかを示す割合です。比率が低いほど柔軟であるとされており、100%を超えると財政に自由が利かない状態であるとされています。



財政健全化の比率

Q 財政健全化とは？

地方自治体の赤字や借金をチェックし、財政破綻を防ぐための指標で、碧南市の財政は、総務省の定める「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の4つの指標について、いずれも国の基準をクリアしています。

指標	碧南市数値	国の定める基準	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.24	20.0
連結実質赤字比率	—	17.24	30.0
実質公債費比率	3.8	25.0	35.0
将来負担比率	9.0	350.0	—

＜実質赤字比率＞

標準財政規模に対する普通会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額の割合のことで、歳入総額が歳出総額を上回る時（黒字）、数値はないものとする。

＜連結実質赤字比率＞

標準財政規模に対する全ての会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額の割合のことで、歳入総額が歳出総額を上回る時（黒字）、数値はないものとする。

＜実質公債費比率＞

標準財政規模に対する普通会計が負担する地方債の返済に充てたとみなされる額の割合のことである。

＜将来負担比率＞

標準財政規模に対する普通会計が将来において負担すると想定される負担額（普通会計、特別会計、公営企業会計、一部事務組合、公社等に対して負担する額）の割合のことで、充当可能財源等の額が当該負担額を上回る時は、数値はないものとする。

国の定める基準を超えると・・・

早期健全化基準を超えると、

財政健全化計画を策定し、議会の議決後、公表しなくてはなりません。

財政再生基準を超えると、

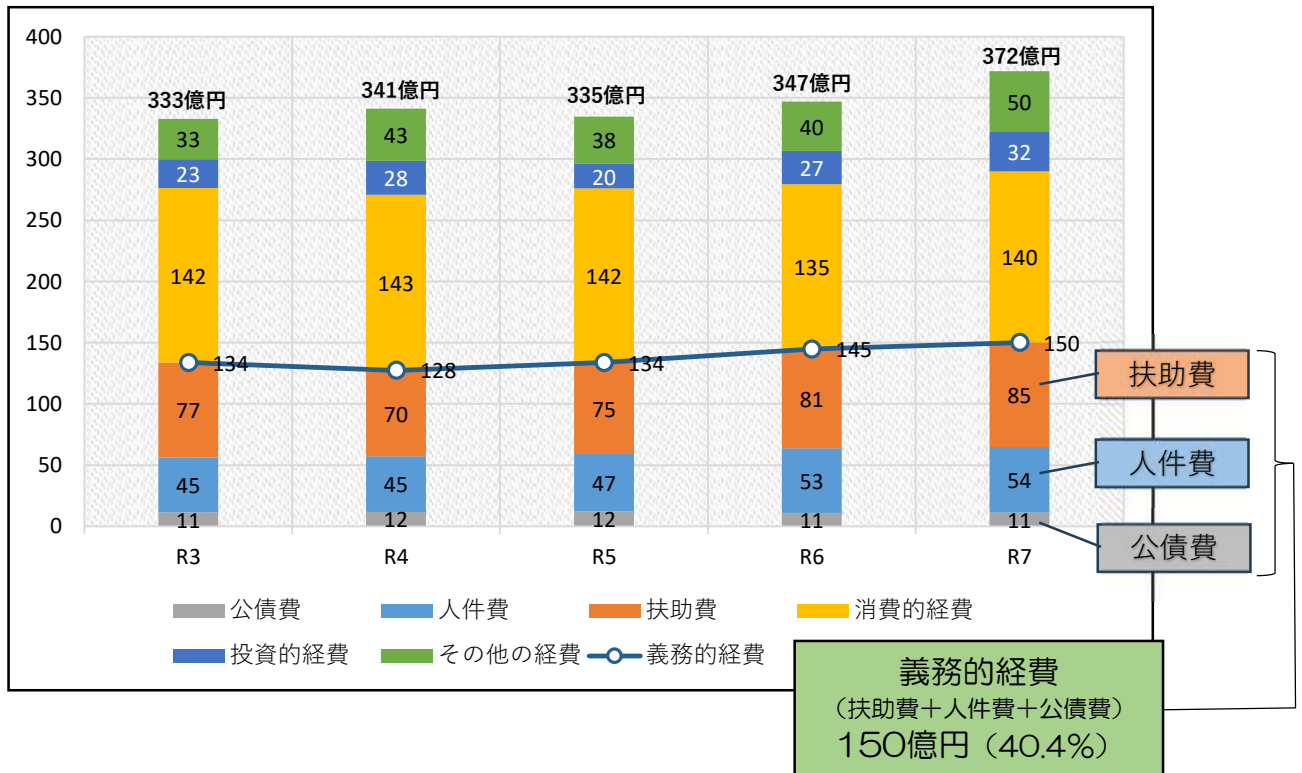
財政再生計画を策定し、議会の議決後、公表しなくてはなりません。

また市債の発行が制限されます。

一般会計決算額と税収の現状

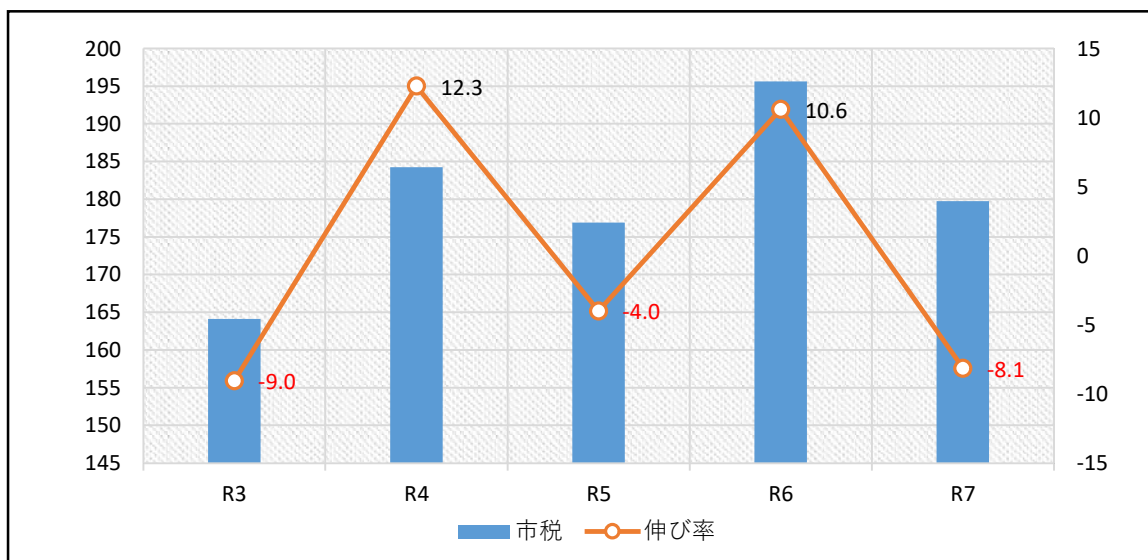
一般会計決算額の推移

全体的に増加傾向にあり必要経費の伸びが懸念される中で義務的経費の金額が年々大きくなってきています。扶助費や人件費においては今後も増加が見込まれます。



市税の税収額の推移

碧南市は、臨海部の企業からの割合が高く、景気の動向に左右されやすいため税収の安定を図るのは難しい。今後も景気の注視していく必要があります。



市内在住ヘキナンさん宅の4月の家計簿

碧南市の決算を市内在住のヘキナンさん一家の家計簿におきかえてみました。

家族構成：おばあちゃん、お父さん、お母さん、息子、娘の5人家族

4月の生活費の概算（予算）

一家の収入	
前月繰越（繰越金）	10,000円
お父さんの給料（市税）	189,000円
パート収入（交付金など）	35,000円
家賃収入（使用料など）	5,000円
おばあちゃんから（国庫支出金）	70,000円
貯金引き出し（繰入金）	34,000円
その他	41,000円
借金（市債）	16,000円
合計	400,000円

一家の支出・何のため？（目的別）	
町内会費など（議会費）	3,000円
家族全員にかかるお金（総務費）	61,000円
娘の保育園代・おばあちゃんの医療費など（民生費）	137,000円
みんなの医療費（おばあちゃん除く）・ごみ袋代など（衛生費）	57,000円
お父さんのお小遣い（労働費・商工費）	8,000円
家庭菜園（農林水産業費）	12,000円
お家の増改築（土木費）	48,000円
お家の防犯対策・防火対策（消防費）	14,000円
こども達の学費、息子のサッカー（教育費）	45,000円
ローン返済（公債費）	14,000円
予備（予備費）	1,000円
合計	400,000円

実際の4月の生活費（決算）

一家の収入	
前月繰越（繰越金）	15,000円
お父さんの給料（市税）	210,000円
パート収入（交付金など）	35,000円
家賃収入（使用料など）	5,000円
おばあちゃんから（国庫支出金）	70,000円
貯金引き出し（繰入金）	34,000円
その他	45,000円
借金（市債）	16,000円
合計	430,000円

一家の支出・何のため？（目的別）	
町内会費など（議会費）	3,000円
家族全員にかかるお金（総務費）	55,000円
娘の保育園代・おばあちゃんの医療費など（民生費）	125,000円
みんなの医療費（おばあちゃん除く）・ごみ袋代など（衛生費）	55,000円
お父さんのお小遣い（労働費・商工費）	8,000円
家庭菜園（農林水産業費）	8,000円
お家の増改築（土木費）	60,000円
お家の防犯対策・防火対策（消防費）	14,000円
こども達の学費、息子のサッカー（教育費）	45,000円
ローン返済（公債費）	14,000円
予備（予備費）	0円
合計	387,000円

43,000円は翌月に繰り越す。

家計で考えると歳入を増やすためにお父さんが残業したりして給料を増やしたり、節約して歳出を削ったりして家計をやりくりしていくのと同じように、市の財政もよく考えて使っていく必要があるぶう



碧南市では100を超える事業所と一緒に1,000品を超えるお礼の品をご用意し、ふるさと納税を通して碧南市の魅力を全国の皆さんにお届けしています。



碧南市 ふるさと納税

検索



発行



碧南市 Hekinan City

新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん

碧南市わかりやすい予算の説明書
令和8年4月 碧南市企画財政部財政課
〒447-8601 愛知県碧南市松本町28番地
TEL.0566-95-9869(ダイヤルイン)
<http://www.city.hekinan.jp/>